



小林亮太君 (左)、岡直幸君 (右)



児童の眼科検診



アマゾン川巡回診療船にて



現地の村の子どもたちと

Portrait

ポートレート

きたのまな
北野真奈君 医学部6年

南米派遣団として、医療の原点にふれる

医学部国際医学研究会 (IMA) の第39次派遣団として、北野君、小林君、岡君の3名はブラジルなどで47日間の医療活動を経験。1年半をかけ、学生主体で準備を進めた。地域住民の健康状態から住宅環境まで医師が把握する、キューバの徹底的なプライマリーケアに驚き、アマゾン川巡回診療船では限られた機器でのシンプルな診療を目の当たりにした。世界には想像を超える医療現場があることを3人で実感し、医師になることへの志と改めて向き合った。「学生のうちに視野を広げたくて参加。地域文化と先進医療の共存が大切だと感じました」(北野君)